

— こどもの日にちなんで —

〔こどもは42万9,028人 県総人口の14.3%〕

5月5日はこどもの日です。こどもの日にちなんで、こどもの人口に関する統計を取り上げました。なお、0～14歳のいわゆる年少人口を「こども」としました。

こどもの数は42万9,028人，県総人口の14.3%で過去最低

茨城県常住人口調査の結果から，平成17年5月5日現在のこどもの数を推計すると，429,028人となり，県総人口に対する割合は14.3%になります。この数値は人口，割合ともに過去最低となります。

前年同時期の推計に比べると，こどもの人口は4,796人減少し，県の総人口に対する割合も14.5%から0.2ポイント低下しました。

男女別では，男子が220,476人，女子が208,552人で，男子が女子を11,924人上回っています。

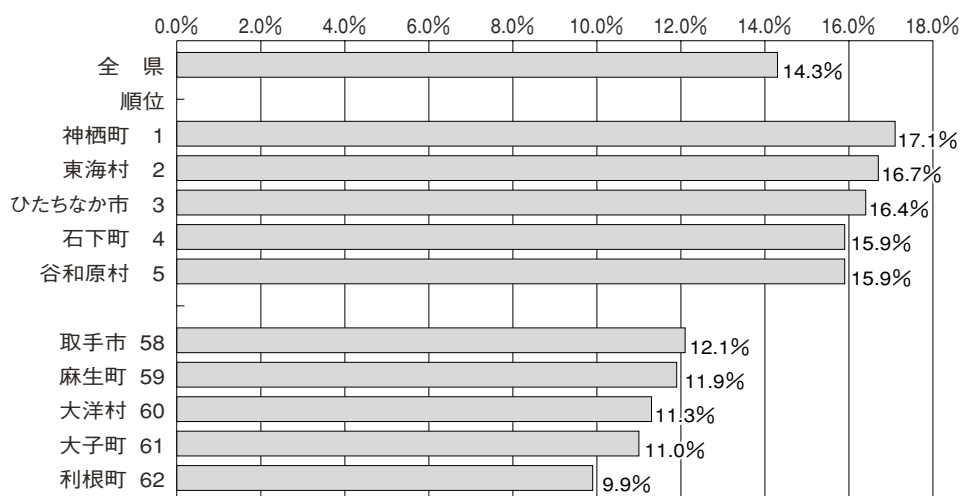
表 茨城県のこどもの人口の推計（平成17年5月5日現在）

	総人口	こどもの人口 (0～14歳)	割合
男女計	2,991,621人	429,028人	14.3%
男	1,488,395人	220,476人	14.8%
女	1,503,226人	208,552人	13.9%

注) 茨城県常住人口調査の結果をもとに推計。

なお，平成17年5月5日現在のこどもの人口割合で県平均を上回っているのは，神栖町（17.1%），東海村（16.7%），ひたちなか市（16.4%），石下町（15.9%）などです。他方，県平均を下回っているのは，利根町（9.9%），大子町（11.0%），大洋村（11.3%），麻生町（11.9%）などです。

図1 市町村別こどもの推計人口割合（平成17年5月5日現在）



注) 茨城県常住人口調査の結果をもとに推計。

こどもの人口割合は昭和10年の38.9%をピークに年々低下

大正9年から5年ごとに行われる国勢調査結果では、こどもの人口割合が、もっとも高かったのは昭和10年の38.9%で、その後、年々低下しています。

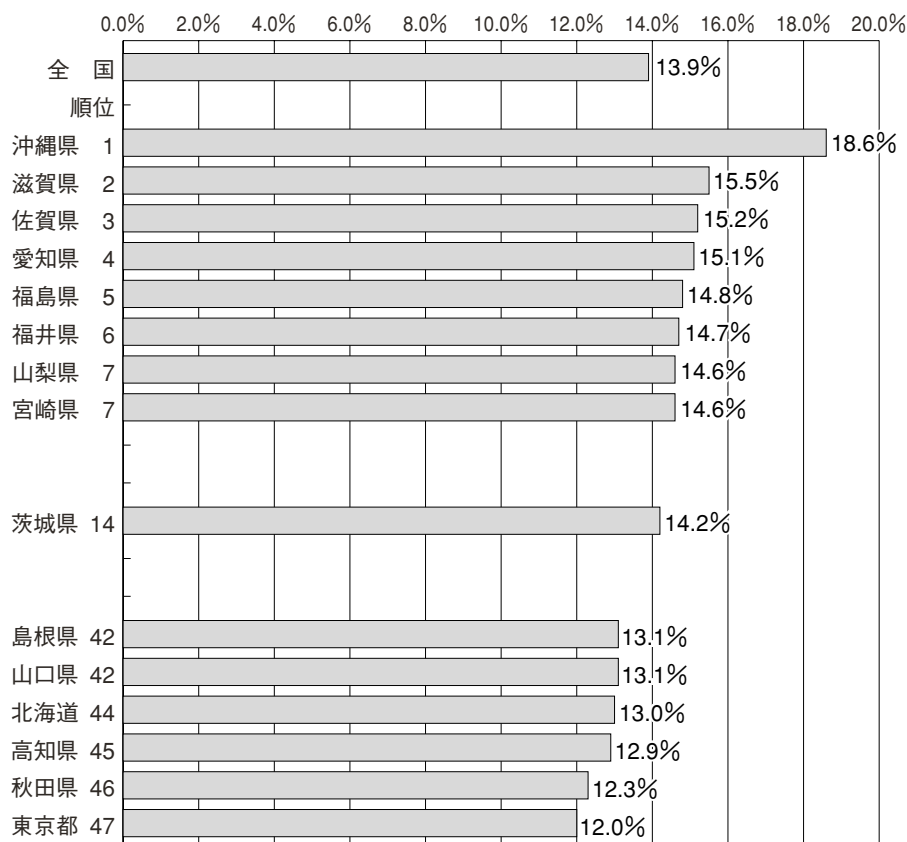
平成12年には、こどもの人口が458,501人となり、国勢調査始まって以来初めて50万人を下回り、こどもの人口割合は15.4%まで低下しました。

茨城県はこどもの人口割合がやや高め

総務省統計局が推計した平成16年10月1日現在の都道府県別推計人口では、本県の総人口に占めるこどもの推計人口割合は14.2%です。これは全国平均の13.9%を0.3ポイント上回っています。

こどもの推計人口割合が最も高い県は、沖縄県で、滋賀県、佐賀県、愛知県、福島県がこれに続いています。本県は栃木県、群馬県、埼玉県、石川県、長野県、三重県、兵庫県と同率で第14位です。

図2 都道府県別こどもの推計人口割合



注) 総務省統計局「平成16年10月1日現在推計人口」により作成。

— 茨城県常住人口調査について —

茨城県常住人口調査は、国勢調査の間における県内各市町村ごとの人口及び世帯の移動状況を明らかにするために、県統計課が実施しているものです。